

令和4年度の学童野球新ルールの導入について（改訂版）

公益財団法人 全日本軟式野球連盟

1. 導入の目的および適用範囲

学童部競技者の肘肩障害をはじめとする野球障害予防の一環として、本連盟学童部に加盟、登録するものに対し、下記ルールの導入を行う。

なお、医科学委員会では、スポーツ医学的観点から競技者を守るための有効なルールとして、全8ルールについて、検証を行い今回、下記2つのルールの導入提案を行うが、その他6つのルールについても引き続き検証を実施し、学童部競技者の野球障害予防と野球環境改善のための有効なルールとして導入検討を行う。また、障害予防は、ルール制定と併せて指導者養成も重要な対策と捉えており継続的な教育啓発を行うものとする。

2. 導入ルール

	導入ルール	取り扱い	目的	導入年/対象範囲・大会
1)	6イニング制・時間制限（1時間30分）の採用	試合は、6回戦とする。但し、試合開始後、1時間30分経過以降は、均等回完了をもってゲームは終了する。	投手ならびに捕手の投球数（返球数）の減少ならびに時間短縮による健康管理。	2022年より全国一律に導入
2)	ホームベースサイズの拡大	ホームベースは、一般用を使用する。	サイズ拡大による投手の負担軽減	2022年は全国大会のみで採用 * 2023年より全国一律に導入

* ホームベース拡大に伴うバッターボックスの区画については、下記として設定をお願いします。

・ 本塁両端からバッターボックスまでの距離は、学童区画の13cmとし、バッターボックスの区画も学童区画の長辺1m50cm×短辺90cmとする。

令和3年12月27日改訂